

新興力

松平3万2千石の城下町・杵築は、言わずと知れた観光のメッカ。確かに観光は大事。しかしそれだけでは町づくりは進まない、と、わが古里の活性化に力を注ぐ若者が、あちこちの地域で活動を展開している。「確かに人が生きていることを実感する町づくり」に真剣に取り組む杵築の未来を担う若手リーダーたちの一言一句が、杵築活性化への呼び水となって響く。

あきんど

農家と商人で旗揚げよう

体験プログラムを宣伝

田尻 今日は新興力について、皆さんが日頃活動の中で感じていることを心置きなくお話しただきたいと思います。まず自己紹介からどうぞ。

下村 私は商店街にある下村時計店の3代目です。今日は城下町地区まちづくり協議会の会長として出席しましたが、もう一つ商店街の若旦那たちと会をつくって活動しています。

野田 大田で葉タバコとコメを栽培しています。おおた青年会はできて2～3年の組織ですが、高齢化率の高い大田をどうかしないといけない、と、各地区の有志が集まって発足しました。しかし次への一歩がなかなか出ません。今日は一つは友達づくり、そしてもう一つ、次への一歩を踏み出すためにここに来ました。

中野 南杵築でお酒を造っています。ゆくゆくは家業を継ぐつもりです。杵築を離れて10年ぶりに帰ってきて、自分が杵築を何も知らないということを実感しています。生まれ育った杵築の魅力を知って、それを自分の中で発信していけるようになりたいと思っています。

袋井 杵築市役所建設課都市計画・公園緑地係で仕事をしています。今、都市計画が3年目を終了したところです。町づくりは非常に意味が深いと感じています。町づくりにつながるところは人づくりという思いで仕事をしています。

田尻 「町づくりは人づくり」は、良いキーワードですね。

佐藤 アドバイザーとして参加しています。大分ベンチャーキャピタルで、ベンチャー企業の投資や再生支援などを扱っています。農業や温泉泉熱を使った発電などを応援しています。地域



若手リーダー
おおた青年会副会長
野田浩輔 さん

発展、地域貢献を柱に、どうやって産業が地域発展に食い込んでいくかを考えています。

「なりわい」継続が目的

田尻 新興力とは、ふんわりした言葉ですが、何か生み出すとか新しいことを始めるといった意味合いを持った造語。ここにいらっしゃる皆さんは、町づくり、地域活性化、ものづくりと、すでに新興力を生み出している方々です。そこで皆さん方がやっていることをたたき台にして、そこから課題を探っていききたいと思います。まず下村さん、城下町の町づくりについてお話しただきたいのですが。

下村 活動を始めて2、3年ですが、やってみて大小の壁にぶつかっています。それに真摯(しんし)に向き合いながらフレキシブルにやっていかなければいけないと感じています。日本全国の人口が減っていますが、人口が減っても地域づくりはできると思います。町づくりは観光のためだけでなく、どうすれば「なりわい」を続けていけるかを追い求める活動です。今一度周りを見回しながら、新しい考え方を生み出さなければ進まないと思っています。でも笛吹けど踊らずの感があるのも事実で、それが悩みです。

田尻 「出る杭は打たれる」の感はありませんか。

野田 俺はそれを打ち返します。打たれてめげるようであれば何もできません。杵築と違って大田は勢いがいいので、自分でアクションを起こさなければ先に進みません。

袋井 出れば打たれるから何もしない方がいいといった、変化を求めない風潮が大分県全体にあります。杵築は特に強い気がします。

田尻 「町づくりは人づくり」は、良いキーワードですね。



若手リーダー
杵築市建設課主管理都市計画・公園緑地係長
袋井義範 さん

の力を取り入れることだと思います。それが変わるための一つの力になるのではないかな。

中野 私は自分がこれまであまり活動していないから、出る杭にはなれないなあ。

全員 じゃ、みんなで出る杭になろう(笑)。

良さが分かっていない

田尻 城下町はやはり観光というイメージで見られがちですが、皆さんのお話を聞くと観光ではなく住むための町づくりですね。行政もそのあたりを考えて町づくりをしているのですか。

袋井 確か昭和50年代に町づくりをした時は中心市街地の道路拡幅を中心に、今の市役所前の道幅を広げました。今となってはそれが成功だったのか失敗だったのか。車にとっては通やすくなったが、住んでいる人にはどうかということです。杵築のように、これだけ良いものが残っているところは全国的にも少ないのですが、住んでいる人は意外とその良さが分かっていません。城下町、坂といった素晴らしいものを市民のみみなさんが理解し、歴史を勉強し、ここに住みたいと思う町づくりをすることが大事です。

下村 誇りがあれば、自らやる気構えが出るのではないのでしょうか。大田のどぶろくまつりは、1300年以上続いています。誇りが無いとそうは続いているとは思えません。歴史や文化を守ることが誇りになり、その誇りでさらに続けていく。杵築が他の観光地と違うのは、子どもたちが観光地である酢屋の坂を通して学校に通う姿です。素晴らしい光景です。観光客もそれを見て、いいなあ、この町は」と、よそとは違った観光地のイメージを持ってくれるのではないのでしょうか。それが素晴らしい町づくりだと思います。だから観光地としてかんじがめにして、小学生が通れないような



若手リーダー
城下町地区まちづくり協議会会長
下村亮介 さん

ことにしてほしくありません。開放した観光資源であり文化財であるべきだと思います。それが住むための町づくりになると思うから。

佐藤 文化財を単なる文化財にしてしまうと住民にとっては居心地が悪くなり、住みにくくなる。しかし行政は違います。そのバランスが難しいところで、文化財を保護しても住民の生活は保護されていないということになります。だからこれからの議論としては、文化財をただ大切にすることだけでなく、いかに暮らしに溶け込ませるかということでしょう。視点を変えて共存を考えることです。

田尻 城下町の張りばてを見せるのではなく、あくまで生きている、住んでいる証しが大事ということですね。

中野 杵築で生まれたのではないのに杵築に住みたいという人がいるという声を聞いて、もっと杵築を知らなければいけないと思いますね。杵築に住みたいと思わせてくれるものがこんなにあることを知れば、杵築の素晴らしいところを知ることになると思います。

袋井 私は観光担当を2年間して、「杵築はいい」と宣伝してきました。今、町づくりの立場になって考えると、生きている町をつくるには、そこに住んでいる人がいて、交流することが必要であることを感じています。そのためには果たしてどうすればいいのか、今取り組み中です。

都市部と山間部に違い

田尻 生きた町にするには、「なりわい」を維持していくことが課題になりますね。

野田 杵築は地域力がすごく弱い気がします。他と交わろうともしません。それを克服することも「なりわい」づくりに関わってくるのではないのでしょうか。

佐藤 都市部と山間部の生活圏の違いがなくて見えない壁になっており、これを取り払うことが必要です。それが新興力になると思います。例えば杵築市街地の人が、足が弱くて歩けない大田のお年寄りから買い物リストを送ってもらい、買い物をして配達する。帰りに大田の新鮮な農産物を買って帰るといった交流も考えられます。

下村 そうですね。逆に定期的に大田の農家の人に新鮮な農産物を杵築の市街地に出店してもらおう。そして商店街で買い物をして帰ってもらうといった交流もできる。これはいいなあ。人の交流によって新しく生まれるものはあると思うよ。こうして杵築中心部と大田との組み合わせができれば、新しい地域力が生まれるでしょう。さらにそれを安岐や山香とも広げて行けばいい。

野田 私も古里を長く離れていたんで、友達をつくりたいから交流の場をつくらなければならないと思っています。向いて交流する場をつくらうよ。

佐藤 合併は良くなかったという地域の声をよく聞きますが、こうしたコラボによって便利な町づくりができるのではないのでしょうか。

下村 コンビニがあるのと同じだね。いわば出張コンビニだよ。こういうことで地域に関わることに喜びを感じる人も増えるでしょう。これまで田舎に帰りたいという人がいたと思うけど、それを後押しするものがなかった。こういったコラボが後押しする力になるかもしれないですね。

共感する人が出てくる

田尻 おおた青年会はこれまで多彩な活動をしていますね。

野田 はい、おせったいのマップづくり、むらコン、空き家調査、また有志で地区内700戸を回って生活調査もしました。これは、世帯主を統一する目的でお年寄りを対象に調査しましたが、助けてくれる人がいるかどうかの調査にもなりました。このことで大田には買い物弱者がいけないことも判明したんですよ。

下村 地域と交わろうという地域づくりをすることが大事ですね。

田尻 大田では青年会を続けたいという声が多いようですが、みんな地元に住みたいのですね。

野田 そうです。でも大田に住んで他市に通勤している人がほとんどで、大田の地域内に勤務している人はわずかです。20代などの若い人は、勤務先が他市だったらいいて大田には住まないですね。私たちは産業があつて教育ができて、若い人が子どもを育てる地域でありたいと願っているんです。大田に住みたいけど産業がないから…。課題の一番はやはり「なりわい」です。

佐藤 「なりわい」ができることは難しいですが、でもこのことに対し人任せでなく自主的に取り組んでいる人が非常に多いことも事実です。経験が絶対に新しい何かを生むと思います。だから精神論で申し訳ないのですが、一生懸命やれば共感する人が出てくるはず。産業誘致が難しいのが現状の中で、大分県がメードイン大分の何かをつくれば誘致も可能と思うのです。

今あるものブランド化

下村 新しいものを作るのは難しいので、今あるものに付加価値をつけてブランド化する知恵を事業者と農家のコラボでやっていけばどうだろう。

中野 うちには製造業ですが、農業が潤うと地域が生きると思うのです。お茶も山香もそう。農業がしっかりとしていると町が生き、住むことにつながります。ただ杵築には道の駅がありません。道の駅で農産物を扱えば、宣伝になって地元を知ってもらうことになり、広く杵築に魅力を感じてもらえると思うのですが。

下村 去年、空き家が多いことを生かした「町の駅」構想が生まれました。空き家で各地域の農産物を販売する、いいものをいいものとして売るという企画です。

中野 それはいいねえ、雇用にもつながるのではないかなあ。

袋井 空き家、空き地を利用すればお金が掛からない。いいですねえ。やってみてうまくいけば拡大し、それでダメならまた考えれば良い。市民が考え出して取り組むことがいいですよ。

アンテナショップ開店

野田 今後、錦江橋も架け替えられることだし、産地直送はグッドアイデアですねえ。

袋井 うん、いい。循環型で経済を回していくことは絶対にいいよ。

下村 そうして地元の産物を地元の人が知って、ブランド化を考えていくこと。ブランド化のためには地元の人が知っていることが不可欠だよ。**中野** 地元の原料を使って製造すれば、作る上でも愛着が湧くね。

全員 そうそう、そうなるとうれしいね。

下村 メードイン杵築を作ろうよ。販売元が城下町杵築ということが一つのキーワードで、古い町並み、伝統ある商店と相まってすごくいい町づくりになると思うよ。それが人口増にもつながるだろうし。

野田 アクションを起こした者勝ちだ。よし、最初は大田のアンテナショップをつくらう。帰ったら早速考えることにしよう。

佐藤 地域でまんじゅうを作っているおばあちゃん、それが地域のブランドになっている例はたくさんあります。今やっているそれを掘り起こしていくのが若い人の役目です。小さな販売所から道の駅に発展、その機会をつくることを考えましょう。地元の人が良いと思っているものは確実にうまいし、いいのです。

素材がそろっている町

野田 そうですね。みんな杵築を過小評価していますよね。

佐藤 産物あり、観光あり、城下町である。こういうことがそろっている町はそうはありません。これで杵築ブランドがつくれると思いますよ。

袋井 よし、やろう！

下村 道の駅ではないが、市民のアイデアで生まれた「町の駅」が城下町の中にあることが話題になって、マスコミに取り上げられるかもしれないよ(笑)。そうすれば宣伝はバッチリ。ないものを作ればきつと爆発力になると思うよ。

全員 うん、そうだ、やろう！

田尻 やる気満々ですね。それでは最後に皆さんでキーワードを考えていきましょう。

田尻 できればご当地らしい言葉がいいですね。

全員 そうだね、とりあえずやってみようか。

佐藤 あつ、いいですねえ、いいと思いますよ。

全員 うん、これにしよう。とりあえず、やってみようか。



コーディネーター
大分合同新聞記者
田尻雅彦

一曲一曲が、誰かの人生とつながっている。4枚組全58曲。長瀬 剛監修のオールタイム・ベストアルバム。

Tsuyoshi Nagabuchi All Time Best 2014

傷つき打ちのめされても、長瀬 剛。

初回生産限定盤 三大特典

1. DVD「STAY DREAM『The Official Bootleg』」
世界初「センターステージ・ギター1本 長瀬剛VSオーディエンス・10,000人が話題となったLIVE「86-87 STAY DREAM」の大阪城ホール公演(1987年2月25日)から貴重なパフォーマンス映像を厳選した7曲・54分。初DVD化(収録楽曲)「SUPER STAR」(「少し寂しかったBreakfast」(愛してるの)「Don't Cry My Love」)「STANCE」(「わがまま・友情 Dream & Money」)「STAY DREAM」

2. 「TSUYOSHI NAGABUCHI VISUAL HISTORY 1987-2014」
3. 「エンボス・ゴールド仕様」3方背ケース

【初回生産限定盤・通常盤 共通】「詩魂」(全80ページ、縦書き・歌詞ブックレット)

Disc1 シングルコレクション 1978-2014

1. 巡恋歌 2. 俺らの家まで 3. 順子 4. 乾杯 5. GOOD-BYE 青春 6. 勇次 7. ろくもんじゃねえ 8. とんぼ 9. JEEP 10. しゃぼん玉 11. RUN 12. ひまわり 13. しあわせになろうよ 14. CLOSE YOUR EYES 15. 蝶 semi 16. 走る

Disc2 生きる詩たち

1. パークハウス 701 in 1985 2. TIME GOES AROUND 3. 西新宿の親父の唄 4. Myself 5. ひざまくら 6. 情熱 7. Success 8. HOLD YOUR LAST CHANCE 9. シェリー 10. PLEASE AGAIN 11. 二人歩記 12. Kiss 13. ひとつ 14. TRY AGAIN FOR JAPAN 15. NEVER CHANGE 16. STAY DREAM

Disc3 怒りの詩たち

1. 明日をくたせえ 2. お家へかえろう 3. 親知らず 4. 俺の太陽 5. 日本に生まれた 6. 鶴になった父ちゃん 7. LICENSE 8. ココロの唄 9. くしゃみじゃなくてよかったよ 10. 何故 11. 六月の鯉のぼり 12. カラス 13. 白と黒 14. 逆流 15. 僕のギターにはいつもHeavy Gauge 16. 顔

Disc4 叫びの詩たち

1. JAPAN 2. ガンジス 3. 青春 4. COME BACK TO MY HEART 5. 東京青春朝物語 6. 耳かきの唄 7. カモメ 8. いのち 9. I love you 10. Captain of the Ship

【通常盤】UPCH-20360/3 全58曲/4CD 税抜価格¥3,980 (Disc1)シングルコレクション1978-2014 (Disc2)生きる詩たち (Disc3)怒りの詩たち (Disc4)叫びの詩たち
【初回生産限定盤】UPCH-29170 全58曲/4CD(通常盤同内容)+DVD 税抜価格¥5,500

絶賛発売中!

ご購入は特設サイトでも <http://emirecords.jp/nagabuchi/>

